

クラブ設立以来、地域と密着した スポーツ振興活動を推進しています。

川崎フロンターレは、150万都市・川崎市をホームタウンに「スポーツ文化の振興及びスポーツによる地域社会への貢献」を理念に掲げ、1996年11月に設立しました。以来、地元密着の活動を続けながら、青少年の健全な育成や地域の発展等への貢献を目指し、1999年にはJリーグのクラブに加盟しプロサッカー事業の展開、並びにスポーツの普及・振興活動に取り組んでいます。

ABOUT CLUB

クラブ紹介

会社概要

COMPANY PROFILE

名称	株式会社 川崎フロンターレ
チーム名	川崎フロンターレ
住所	川崎市高津区末長4-8-52 電話044-813-8618 (代)
設立年月日	1996年11月21日
資本金	349,375,000円
株主	味の素(株)、(株)石川商事、(株)稲村製作所、大川町工業団地協同組合、(株)神奈川新聞社、川崎市、川崎信用金庫、川崎フロンターレ持株会、(有)久地興業、(株)ケアネット、(株)興建、サツマ工業(株)、賛友精機(株)、JX日鉱日石エネルギー(株)、ジェクト(株)、(株)ショウエイ、(株)昭特製作所、昭和電工(株)、セレス川崎農業協同組合、(株)タイトウ、(株)大和、タカネ電機(株)、(株)田村屋、(株)セレモニア、ティーエヌジー(株)、(株)テレビ神奈川、東洋ロザイ(株)、(株)ナガシマ製作所、(株)ニッコー、企業組合労協センター事業団川崎事業所、(株)PFU、富士通(株)、富士電機(株)、プライムコーポレーション(株)、和幸商事(株)、他 (36名 50音順)
ホームタウン	神奈川県川崎市
ホームグラウンド	川崎市営等々力陸上競技場 (川崎市中原区等々力1-1)
名称の由来	フロンターレとは、イタリア語で「正面」「前飾り」の意味。これは常に最前線で挑戦し続けるフロンティアスピリッツ、正面から正々堂々と戦う姿勢を表現したものです。
エンブレム	川崎市の花「つつじ」、チームマスコットの「イルカ」、チームカラーをあしらい、世界に向けて開かれた活力と、魅力ある臨海都市「川崎」をシンボライズしたマークです。
マスコット	ふるん太、カブレラ





クラブヒストリー

CLUB HISTORY

1992年	ジャパンフットボールリーグ加盟	2009年	AFCチャンピオンズリーグ ベスト8 Jリーグヤマザキナビスコカップ準優勝 J1リーグ2位 天皇杯ベスト8
1997年	Jリーグを目指す為にプロ化 同年6月 Jリーグ準会員加盟	2010年	AFCチャンピオンズリーグ 出場 Jリーグヤマザキナビスコカップ3位 J1リーグ5位
1999年	J2リーグ加盟 J2リーグ優勝	2011年	J1リーグ11位
2000年	J1リーグ昇格 Jリーグヤマザキナビスコカップ準優勝	2012年	J1リーグ8位
2001年	J2リーグ7位 天皇杯3位	2013年	J1リーグ3位 Jリーグヤマザキナビスコカップ3位 天皇杯 ベスト8
2002年	J2リーグ4位 天皇杯ベスト8	2014年	AFCチャンピオンズリーグ出場 Jリーグヤマザキナビスコカップ3位 J1リーグ6位
2003年	J2リーグ3位	2015年	等々力陸上競技場メインスタンドリニューアル 富士通スタジアム川崎オープン J1リーグ6位
2004年	J2リーグ優勝	2016年	J1リーグ年間勝点2位
2005年	J1リーグ8位 天皇杯ベスト8		
2006年	フットサルコート 「フロンタウンさぎぬま」オープン Jリーグヤマザキナビスコカップ3位 J1リーグ2位		
2007年	AFCチャンピオンズリーグ ベスト8 Jリーグヤマザキナビスコカップ準優勝		
2008年	J1リーグ2位		

ヴィジョン~「一緒に」育て上げてゆく健全なスポーツ環境。

OUR VISION

川崎フロンターレは、地域に密着した市民クラブを作り上げ、スポーツの普及活動やプロサッカー事業によって、健康都市作り、地域の活性化・川崎市イメージアップ等、地域社会への貢献を目指しております。市民がスポーツを「する」、「観る」、「携わる」、「語り合う」ことが日常的に行われること、つまり、スポーツというものが日常生活の一部になっているような環境を作り上げることによって、物質的な豊かさとは違った意味で、人々はより豊かな生活を送ることができるようになるのではないのでしょうか。その実現にあたって、私たちは、多くの市民の皆さまに川崎フロンターレを理解して頂き、トップチームを強化し、更なるスポーツの普及・振興を図ってまいります。

VISION 1

市民クラブの確立

川崎フロンターレは、多くの市民の皆さまに愛され、親しまれ、市民の誇りとなる市民クラブを目指します。そして、地元密着した市民クラブとして、「スポーツで、もっと、幸せな国へ」を実現する為に、地域スポーツの振興を推進していきます。

VISION 2

トップチームの強化

ホームタウンのシンボル、誇りとなるよう勝利に向かってチーム力を向上させることはもちろん、常にひたむきに最後まで諦めない、観る人に感動を与えるチームを目指します。さらに、Jリーグでビッグタイトルを獲得することを目標としています。

VISION 3

若手の育成

スクール(幼稚園・小学生)、ジュニア(小学生)、ジュニアユース(中学生)、ユース(高校生)の育成システムを擁し、スクールからトップチームまで一貫した指導で選手を育成することにより、地元川崎からより多くのプロ選手を育てていきます。

VISION 4

経営基盤の確立

ホームゲームにより多く来場いただくことを目指し、合わせて、入場料収入、グッズ販売の増加も目指します。多くの応援は選手を鼓舞し、勝利へつなぐ最大の効果があります。多くのお客様のご支援を受けることで、経営基盤の強化を図っていきます。

FOOTBALL TOGETHER

欧州各国において、人々は、FOOTBALL CLUBを中心にスポーツを楽しみ、市民とクラブが一体となることでスポーツ文化を育んできました。「豊かなスポーツ文化の振興」というJリーグの基本理念は、このようなクラブ中心のスポーツのあり方をモデルに創られました。川崎フロンターレもその理念をベースに活動していますが、欧州ですらスポーツが文化として定着するには長い時間の積み重ねが必要でした。日本においても、市民と私たちクラブが共に様々な困難を乗り越え、実績を積み重ねる事ではじめて、この理念が現実になるのだと考えます。常に意識すべきことは、私たちは単にサッカーをするだけの集団ではないということ。サッカーを、歴史に裏打ちされた奥行きのあるスポーツ、或いは文化として捉えるべきということです。市民、選手、スタッフ、スポンサー、そしてサポーター。全ての人々と共に歩むクラブとしての「TOGETHER」という言葉は、FOOTBALLを軸にスポーツ文化を築いて行こうという私たちクラブの信念を象徴しています。いつも皆さまの身近にある市民クラブとして、川崎フロンターレは歩んでいきます。